



光と森の  
*Symphony*  
シンフォニー

イオンモール橿原

# 光と森の Symphony

シンフォニー

あるところに、「シロクマの森」、「トナカイの森」、「鳥の森」の3つの光の森がありました。  
そして、3つの光の森の中央には、「noNIWA広場」という大きな広場がありました。  
冬のある日、noNIWA広場に、音楽が大好きなノーテという1人の旅人がやってきました。  
3つの森の代表者たちは、それぞれノーテのところへやってきて、自分の楽器の自慢をしました。

まず、「シロクマの森」からシロクマがやってきてご自慢の太鼓をたたき、次に「トナカイの森」から  
トナカイがやってきてバイオリンをひきました。  
最後に「鳥の森」から鳥たちがやってきて、フルートを奏でました。  
どれも良い音色だったけど、ちゃんとしたメロディーになっていませんでした。



# 光と森の Symphony

シンフォニー

ノーツは、背中に背負っていた古いリュックから  
金色に輝くピカピカのトランペットを取り出して  
吹きはじめました。

それはそれは、とても素敵な音色が、森中に  
ひびきわたりました。

3つの森の代表者たちは、その素敵なトランペット  
に引き寄せられてnoNIWA広場に集まって  
きました。



# 光と森の Symphony

シンフォニー

- そして、ノートのトランペットに合わせて、動物たちはそれぞれの楽器を演奏しました。すると、ほんとうに素晴らしい1つの曲が完成しました。じつは、ノートは、森から森へと渡り歩き、世界中に音楽を届ける音符の妖精だったのです。「この曲を“光と森のシンフォニー”と名付けよう！今、みんなの心が、音楽で一つになったよ。」

ノートはそう言って幸せそうに笑いました。それぞれの楽器を自慢するかのように演奏するのではなくて、それぞれの奏でる音が溶け合い、心が踊り出すような演奏会でした。

こうして、noNIWA広場では、冬になると「光と森のコンサート」を開催するようになりました。このコンサートには、たくさんの街の人たちも、招待状を持って集まってきます。ほら、探してみてください。あなたにも、光の森の動物たちから招待状が届いているかもしれませんよ。

